



令和3年5月24日
令和3年度学校だより NO.8②
加古川市立平荘小学校

子どもたち全員に一人一端末（クロームブック）が搬入されました

GIGA スクール構想として、子どもたちに、一人一端末が市より貸与されました。先日、全員の子どもの端末が無事搬入されました。高学年から順次、学習に取り入れています。

これまでの学習に加えて、一人一端末や大型モニター等 ICT 機器を活用しながら、視覚的でわかりやすく学習ができるように工夫をしています。

子どもたちが初めてクロームブックを手にした時には、目を輝かせて興味津々でした。一斉学習の場や個別学習の場、協働学習の場とさまざまな場面でクロームブックを活用していきます。

最初の授業では、児童一人一人が、教師の説明を聞きながら、自分のパスワードやアカウントを入力していきましました。設定が終了すると、残りの時間で、デジタル学習ツールのドリルパークにチャレンジしました。ドリルパークは、教科書に準拠したデジタルドリルで、自動採点、自動集計ができ、繰り返し学習ができます。ゲーム的要素もあり、子どもたちのやる気を一層刺激しています。

今後は、一人一人の子どもたちが、授業の中で、クロームブックをスムーズに使いこなせるよう、数多く端末にふれる機会を設けていきたいと考えています。同時に、指導者側も、授業の中でさらにクロームブックの機能を活用できるように研修を積んでいきます。

「はるかのひまわり」プロジェクト（児童会）

コロナ禍の中、「三密をさけること」や「ソーシャルディスタンスをとること」等、感染防止対策をしながら、一人一人が大切な自分の命や周りの人の命を守っているところです。

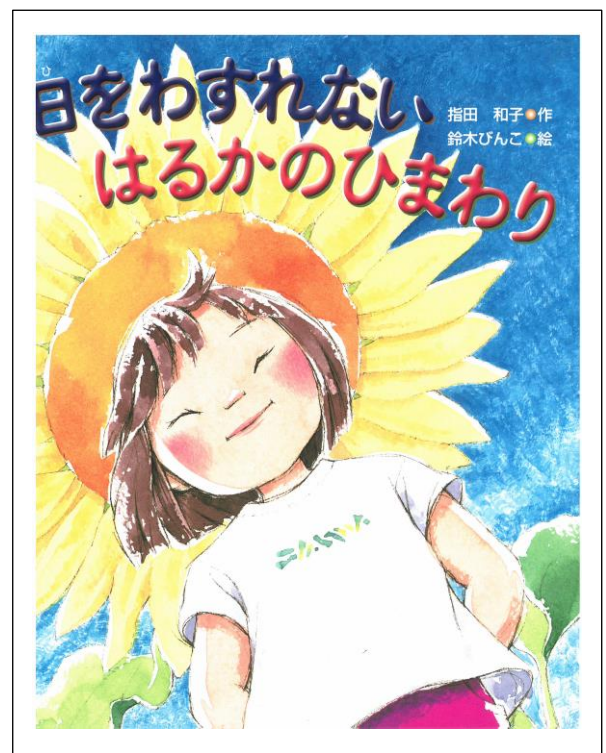
このような中だからこそ、人を大切にする心を育てることや人とのつながりの大切さを実感できる取り組みはないだろうかと考えました。子どもたちも一緒に考えました。

そこで、児童会の子どもたちに一冊の本を紹介しました。「**あの日をわすれない はるかのひまわり**」です。

児童会役員一人一人が「はるかのひまわり」の本を読みました。そして、「はるかのひまわり絆プロジェクト」の存在を知りました。

本校の児童会では、命の大切さを伝え、つながることを目標に、自分たちにできることはないだろうか、「はるかのひまわりプロジェクト」と題して、今、案を練っています。

子どもたちが主体的に目標を持って活動することを、とてもうれしく思います。そして、平荘小学校の夏、校庭に、命の大切さを伝える「はるかのひまわり」の花が元気いっぱい咲くことを、とても楽しみにしています。

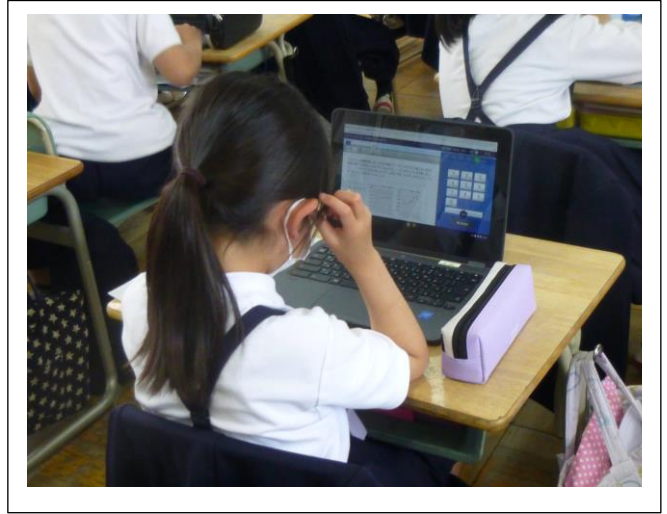


《クロームブックを活用した学習》

初めてのクロームブックを使った学習です。どの子も意欲的に取り組んでいます。

《4年生》

早速、「ドリルパーク」にチャレンジです。



《5年生》

クロームブックを使って、図工の学習をしました。写真を何枚も撮って、コマ撮りアニメーションづくりをしました。どんなアニメーションに仕上げるのか、イメージを膨らませながら失敗をおそれず取り組んでいました。



《はるかひまわりプロジェクト》児童会に種が届きました



「はるかひまわりの種」が届きました。



みんなで大切に育てましょう。